

学位記を受け取る卒業生



## 八学大、八学短大生に学位記

# 「幸福な人生の作り手に」

八戸

八戸学院大と八戸学院短期大学部(いずれも法官新学長)は18日、八戸プラザアバンホールで、2018年度学位記授与式を開いた。4学科242人が学生生活に別れを告げ、社会に踏み出す決意を新たにしました。

法官学長が4学科の代表者に学位記を授与し、「現代の課題や問題に取り組めるのは、これからの未来を任せられた学生諸君だ。今日は社会への第一歩。人としての使命

を果たすことを期待する」と式辞。

卒業生を代表し、4月から北海道で養護教諭として勤務する八戸学院大健康医療学部人間健康学科の安達美海さん(22)が「複雑で予測困難な社会の変化を前に、自らの可能性を発揮し、よりよい社会と幸福な人生のつくり手となれるよう努力していく」と力強く誓った。優秀な学業成績を収めた卒業生に理事長賞などが贈られ、最後に学歌を斉唱するなどして式を締めくくった。(須田山裕太)